

# 生物多様性とESD

Biodiversity and ESD

ESDはプロセス、  
生物多様性は基盤。

川廷 昌弘  
一般社団法人CEPAジャパン  
博報堂CSRグループ部長  
2012.11.28



いま「生物多様性」  
という概念の共有が重要。

そのために大切な、  
「ESD Meets CEPA」

(CEPA=コミュニケーション・教育・普及啓発  
生物多様性条約第13条のキーワード)

『国連生物多様性の10年』と『CEPA』をどうすすめるか  
～ESDの視点から』(ESD Meets CEPA)をCOP10で開催。

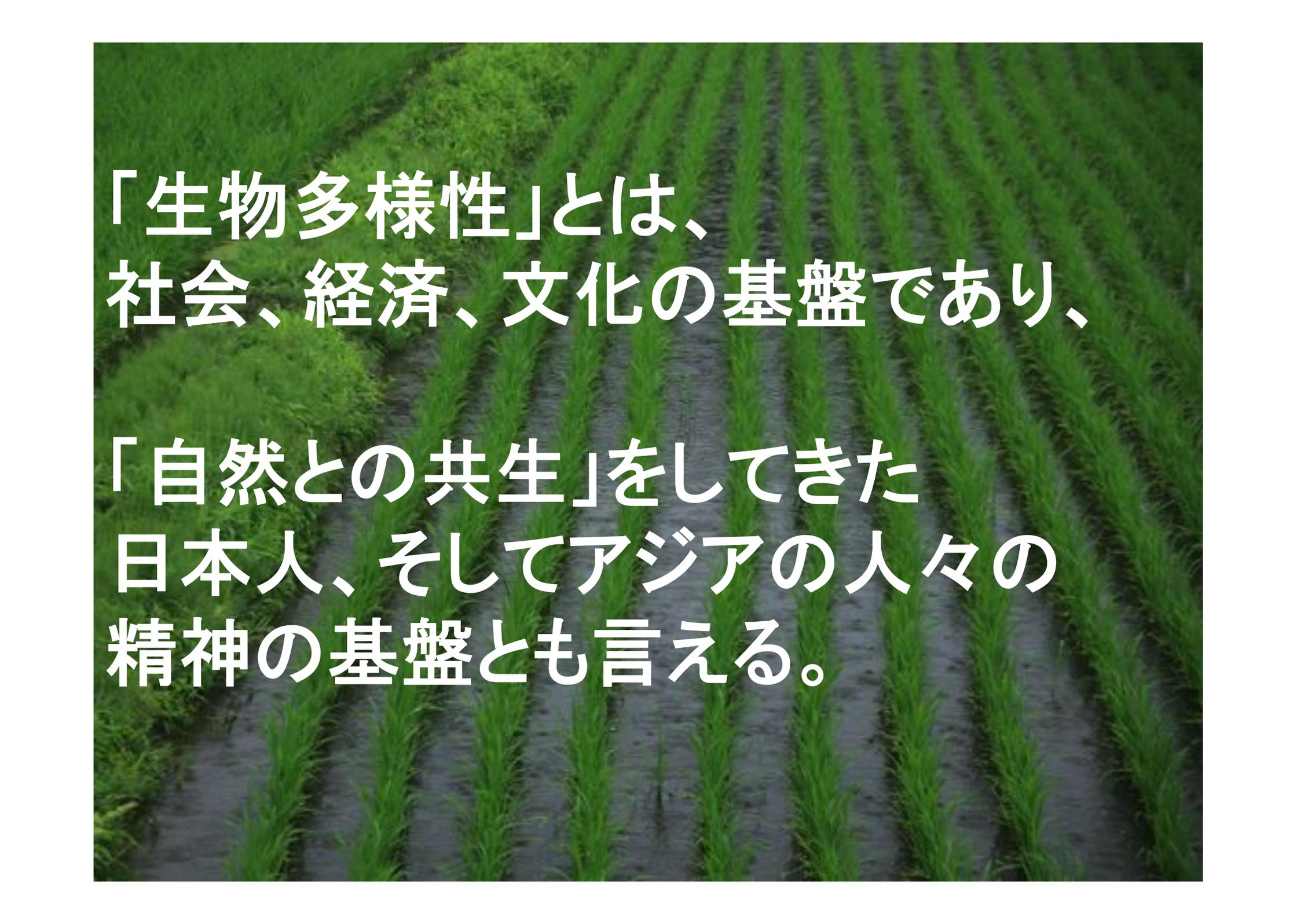
CBD事務局、IUCN-CECとアジア、  
国内のESD関係者による  
パネルディスカッションで共有。

ESDとCEPAは同義語であり、  
わたしたち生活者が、  
自然資源の利用者であり管理者である事を  
理解し行動するために、  
伝え、広め、学び合い、分かち合うもの。

詳しくはESD-「生物多様性しんぶん2011年冬号」

人類は生物の多様性のもたらす恵沢を享受することにより生存しており、生物の多様性は人類の存続の基盤となっている。

また生物の多様性は、地域における固有の財産として地域独自の文化の多様性も支えている。



「生物多様性」とは、  
社会、経済、文化の基盤であり、

「自然との共生」をしてきた  
日本人、そしてアジアの人々の  
精神の基盤とも言える。

# 自然でつなぐ

## ■大野正人(自然保護協会)

暮らしを支える日本の自然の豊かさ

＝生物多様性を守り自然を尊重する社会をめざす  
ものさしの生き物「指標生物」その生き物の役割

＝自然しらべ

## ■川上典子(自然観察指導員東京連絡会)

都市で行う低学年からの自然体験、気づき、理解

＝都市の自然ポテンシャルをマッピング

都市に必要なもの

＝イベント性 多様なアプローチ方法

セクター協力

教育機関＝制度化

自治体＝都市計画

企業＝本業で取り組むCSR

# 地域でつなぐ

## ■前園泰徳(勝山市環境保全推進コーディネーター)

興味が無い人の仕掛けは教育における日常化

＝ESDは教育の目的、教科は目標

＝次世代の常識化、常識のための日常化

生物多様性は地球の基盤でありバロメーター

＝生き物が主役になると、脇役や役割が見えなくなる

＝身近な生き物しらべで科学的プロセスを体感

＝答えが無い問いに対して調べ続ける

＝子どもからの提言で地域を客観的に見る

# 流域でつなぐ

## ■ 畠山信（森は海の恋人）

漁師は森を知る生き物

＝雪解け水は雪白水、木造船で生業

震災後のいきもの推移

＝地盤沈下で湿地

＝研究者と地域の子ども達による調査

＝災害という変化に対応し本当に大切な事を考える

防潮堤の問題

＝防潮堤祭りで見える化

# 子どもでつなぐ

## ■中村玲子(ラムサールセンター)

テーマを限定

＝湿地をフィールド、子どもを主役に

主体性

＝学校ではなく地域市民

自然の流れ

＝鳥の行動路に添って子どもの活動をつなぐ

条約を越える子どもの活動

＝条約を節目にプロセスや成果を可視化する

## まとめ

# 「ESDはプロセス、生物多様性は基盤。」

ESDも生物多様性も見えないもの、可視化が必要

### ■ 価値転換

やった感、面白さ、無関心層の欲求に向ける  
メディアの報道特性を引き出し普及啓発

### ■ 暮らしの基盤

自然の姿だけでなく、社会の姿を同時に学ぶ  
自然資源、歴史、地域文化、、、  
これがESDのカタチ

### ■ 制度化と可視化

- 1、興味が無い人の仕掛けは教育における日常化
- 2、生活の視点、暮らしの視点による市民化

# 1、興味が無い人の仕掛けは 教育における日常化

## ■ESDを学校教育の中で深める**制度化**

- 1、学習指導要綱に入れるべき
- 2、プロのコーディネーター制度の導入
- 3、軸を定める、探求的な学習など位置づける
- 4、どこでも転用できるサンプル提示、成果、評価

## 2、生活の視点、 暮らしの視点による市民化

### ■ESDをアイコン、イベントで可視化

地域を考えるために

生き物だけでなく人工物をアイコン化。

例えば、指標生物 里山保全 あかとんぼ  
指標人工物 震災復興 防潮堤

例えば、

防潮堤を造るのは今の日本政策システム

防潮堤がなくても暮らしていける地域づくりがESD

# 防潮堤がなくても 暮らしていける地域づくりがESD。

自然と暮らしを完全に隔てる  
＝生物多様性を崩壊させる  
巨大防潮堤は必要か否か。

「反対運動」ではなく、  
地域文化的なイベント開催し  
考える機会としていくのがESD。  
＝「防潮堤祭り」にヒントあり。



この支柱の高さは「14.7m」。  
政府が検討する防潮堤の高さ。

「祭り」や「イベント」を目的に  
多くの人に集まってもらって、  
自ずから実感してもらう  
仕掛けづくり。



# 生物多様性とESD

Biodiversity and ESD

ESDはプロセス、  
生物多様性は基盤。

川廷 昌弘  
一般社団法人CEPAジャパン  
博報堂CSRグループ部長  
2012.11.28